柏の実苑　後期レクリエーション

柏学園　卒園式

柏の芽

発行所
社会福祉法人
柏　学　園
広島県安芸郡府中町
青崎東7-12
TEL（082）282-6500
発行人　米川　晃
印刷所
株式会社　中本本店
TEL（082）221-9181

平成29年度法人事業計画について

社会福祉法人柏学園　理事長
米川　晃

社会福祉基礎構造改革（障害者基本法制定、障害者プランなど）が謳われはじめて20年が経過する中、障害児（者）地域療育等支援事業に始まり、措置制度から利用契約制度への大転換（平成15年度施行の支援費制度）、平成18年度施行の障害者自立支援法から平成24年度施行の障害者総合支援法と児童福祉法改正により、障害児支援及び障害福祉サービスの多様化・複雑化、障害福祉サービスにおける民間企業等の参入、従前の社会保障や障害福祉施策にとどまらない切れ目のない生活支援サービスへの期待など、社会福祉法人の役割と経営の在り方が今年度より大きく変化します。主には、経営組織のガバナンスの強化（理事会・評議員会の位置づけ）、地域における公益的な取り組み等があります。当法人としては、障害児支援への軸足から、障害受容前期の家族支援全般を地域公益事業として行います。

平成29年度障害保健福祉予算案は、1兆7、486億円（対前年度比、＋7・0％）です。その内、障害福祉サービス関係費（自立支援給付＋障害児措置費・給付費＋地域生活支援事業費等）は、1兆2、656億円（対前年度比＋9・5％）となります。この中に、良質な障害福祉サービス、障害児支援の確保として1兆2、231億円、地域生活支援事業等の拡充に488億円となり、障害児・障害者への良質かつ適切な医療の提供に2、309億円などが計上されています。

また、一昨年12月に「障害者総合支援法の施行後3年を目途とした見直しについて」の報告書を考慮して、平成30年4月に向けた各種方向性が明確にされる1年であることを認識して法人としての取り組みを行い、個々の専門性を高める努力を怠ることなく施設力を高めることが必要となります。

特に地域における障害児支援の推進においては、障害のある児童が住み慣れた場所で暮らすために必要であり、障害の特性に応じた療育などの発達支援が確保されるよう求められています。その為には、児童期の支援が迅速に受けられるような機能整備が不可欠です。また、平成24年10月施行の「障害者虐待防止法」、平成28年4月施行の「障害者差別解消法」などは、平成19年9月に「障害者の権利に関する条約」に署名し、同条約の締結に必要な国内法が整備された結果によるものです。

当法人においても、利用者の尊厳と権利を保障することを肝に銘ずることが重要であり、コンプライアンスとモラルの中で、社会から信頼され得る支援活動を図ることが第一です。また、設立当初より殊に児童期の発達保障の支援に力を注いできた当法人としても、『地域における障害児支援の推進』の施策に対しては大きな期待感を持っています。とりわけ、幼児発達支援センター柏学園と児童入所施設瀬野川学園の療育支援や生活支援の質の充実に向けて、各種の取り組みを行います。また、地域支援の核ともいえる「相談支援の充実」にむけて、それぞれの相談支援事業を法人組織の中核として、人材育成は勿論のこと機能強化・充実にも力を入れていきます。但しこれらの取り組みに際して、これまで培われてきた法人柏学園の支援内容が損なわれることが無いように、法人全体に於いて研鑽を深めていくことが重要であります。

また、本部キャンパスの建て替えに向けた準備のため、利用者や保護者の皆様には、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

幼児発達支援センター

柏　学　園

（所在地）
安芸郡府中町青崎東
７-12
TEL（082）282-6500

主に就学までの子どもたちが通って来ています。子どもたち一人一人の気持ちと発達段階を充分に理解し、ご家族の方々との話し合いを大切にし、親子共々希望と元気が出る療育を目指しています。

今、思うこと

柏学園　林　しのぶ

今年もまた、多くのお子様と保護者の皆様にご利用いただき、平成29年度がスタートできたことに深く感謝しております。児童発達支援センターとして、児童発達支援と保育所等訪問支援の機能をより強化させること、また、地域の障害児福祉の核となり得る、柏学園ならではのきめ細かな相談支援の充実を図っていきたいと考えています。柏学園創立60年、これまでの歴史と歩みを再確認し、その中に〝存在するもの〟を大切にしながらも、これから先の柏学園をイメージしていければと思っています。

私は、子どもたちの明るい笑顔に勇気と元気をもらいながら、あわただしく過ぎていく日々の中、ふと振り返ると、１年また１年と年月を積み重ね、今さらながらに30年が経ったという事実に驚いています。反省ばかりの日々ではありましたが、常に回りの人に助けられ、励まされてきたように思います。「感謝」の他には言葉が見つからないくらいです。一人では何もできないということを痛感し、力を合わせることの大切さを学んだと思っています。それには時間が必要であること、焦ってもダメなことも学んだように思います。府中キャンパスの建替え等、大きな変化の年になります。皆様に助けていただきながら、感謝の気持ちを忘れず、この変化を焦らずに乗り切っていこうと思っています。

障害者生活支援事業

柏の実苑

（所在地）
安芸郡府中町青崎東
７-12
TEL（082）282-6500

18才から60才までの知的な発達に障害のある方達が、社会参加や自己実現を目指して家庭から通い、職業指導・生活援助を通して日中活動の場を提供しています。

支　援　す　る

柏の実苑　河内　真吾

この国では、長い冬が明け、誰もが待ちに待った桜が咲き誇る季節となりますと、寒さで眠っていた身体も草木が芽吹くと共に、むくむくっと起きて、心も体も気持ちを前に向けスタートする、そんな気持ちになります。例外なく利用者の皆さんもこの一年を楽しみに通ってきます。日々の作業や余暇活動に加え、春の運動会、皆で行く小旅行やレクリエーション、球技大会や法人のお祭り、またクリスマス会などの行事の数々。いよいよ平成29年度が始まりました。さて、この度私は入所施設から通所施設へ異動して参りました。個別支援計画におけるご家族との面談の中で体重の増加についてのコメントが多かったことが気になりました。増加の原因はさまざま考えられます。食べ過ぎ、運動不足、基礎代謝、ストレス等。単純に言えば、消費カロリーより摂取カロリーが上回れば脂肪へと変換され、蓄積されるということ。さらに基礎代謝が低ければ、同様の結果になります。つまり、暴飲暴食による摂取カロリーオーバー、老化や運動不足による基礎代謝量の低下によるもの、慢性の便秘、ホルモンや自律神経のバランスの乱れ（ストレスの影響）、食事の変化による微量のミネラルの不足など。生活習慣や現病歴等、個人情報保護の範囲内での情報収集の中で、さらに通所サービスの範疇での限界の中でそれらの改善・解消への支援ができるか、課題がのしかかります。我々には誠意を持って利用者とご家族の方々との連携を図ることが望まれます。

知的障害児居住施設
瀬野川学園
（所在地）
広島市安芸区上瀬野
南一丁目338-3
TEL（082）894-8958

知的な発達に障害のある児童の居住する施設です。現在8才から32才までの15名が起居を共にし基本的生活習慣の確立をめざしています。学齢児は特別支援学校へ通い、18才以上の人達は将来の社会的自立をめざしています。

新年度の始まりにあたって

瀬野川学園　**田中　優子**

また新しい年度が始まりました。新しいと聞くと、気分も新たとか未知なる感じがしてワクワクする方も多いかもしれません。また反対にどんなことがあるのか想像できなくて不安が大きくなる方もいるでしょう。私はどちらかというと後者の方で、これからどんなことがあるのだろうかと不安に思うことの方が多いです。

そんな中、新たな年度を皆でどのように過ごすかを考えるのに、昨年度を振り返ってみます。日々の生活を通して小さい子たちの成長を感じたこと、年齢を重ねた子の安定した生活の中でも感じられた色々な変化など良い面とそうでない面がありました。それらはいつもと変わらない支援をしていくことで得られたこともありますが、新たな取り組みをして得られた変化もありました。私はどちらかというと新しく踏み出すことが苦手で、頭で考えて、あぁ多分ダメだろうなと思ってチャレンジすることなく終わることが多かったのですが、やってみなければ分からないことも多いということを皆からいつも教えられます。

新たな職員も迎えるので、先を見据えて今を考え、新たな見方も取り入れながら利用者支援をしていきたいと思います。

知的障害者居住施設
安芸柏の実苑
（所在地）
広島市安芸区上瀬野
南一丁目338-3
TEL（082）894-8958

平成13年８月１日より発足した成人施設です。知的な発達に障害のある大人の生活居住施設です。現在29才から49才までの男性20名が起居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃などの作業を通して社会適応をめざしています。

新年度へ期待を込めて

安芸柏の実苑　**泉　真教**

昨年はカープ優勝により広島の街も活気づき様々な相乗効果も生まれ我が町も久しぶりに盛り上がりました。地元に根付いた球団がこれだけ日々の生活に影響を与えてくれるかとつくづく実感した年でした。今年も力の限り応援したく思います。

新たな年度を迎え利用者の方に対しての支援についても職員間で創意工夫を行い、相乗効果を期待していきたいと思います。障害者総合支援法が制定されて数年が経過しましたが、障害に対しての程度の基準や区分の曖昧さを感じています。しかし我々はあくまでも当苑を利用してもらっている利用者の方々により良い生活をして頂けるようにサービス提供を行っていきたいと思っています。

今年度も引き続き個々のニーズに合わせた個別の生活体系に合わせ、個別支援計画を作成し保護者の方と話し合いながら日々の生活が豊かになるように共に考えていきたいと思っています。保護者の方に関しては御足労掛けると思いますが日々の御協力には感謝いたしております。今年度も利用者の方が安心安全で過ごせるように色々とお力の方お貸し下さい。我々も出来る限り力を惜しまず援助いたします。本年度もよろしくお願いします。

障害者生活支援事業
安芸柏の実苑通所部
（所在地）
東広島市志和町大字志和堀字下十日市山337
TEL（0824）33-5690

知的な発達に障害があり、主にグループホームなどで地域生活をしている19名に、日中活動の場を提供しています。
「志和福祉ランド」（東広島市）において、農耕・軽作業・洗濯などの作業を通して、社会参加や自己実現を目指しています。

よしみ桜

安芸柏の実苑通所部　**中島むつみ**

今年も春がやってきました。
今年に入ってすぐ大寒波到来で大雪が降り、志和では四十センチの積雪がありました。三月にも雪が降り、厳冬のためか、桜の開花も遅く四月に入ってもまだつぼみの状態ですが、毎年志和の春を彩ってくれています。この桜は平成四年に志和福祉ランドを開園する時に、ご家族の方より苗木をいただき植えたもので、私達職員はこの桜を〝よしみ桜〟と名付け、桜が咲くころには、「今年のよしみ桜の開花宣言はいつになるかね」「今年もよしみ桜きれいだね」と話をしています。通所部では毎年満開になると、よしみ桜の下で、集合写真を撮ることを恒例としています。植えた時は二十代だった方も今では五十代、桜と共に利用者も私自身も歳をとりました。歩くのがゆっくりになったり、風邪をひきやすくなったり、少しずつ体力の衰えを感じています。
通所部では、昨年度より「スポーツ交流センターおりづる」より職員を派遣していただき、健康体操を行っています。ストレッチ運動や、室内で出来るゲーム（風船バレー・ボッチャ・ボウリング等）を教えていただき、楽しみながら体を動かしています。皆が元気で過ごせるように、活動を工夫しながら体力維持に努めています。今年も満開のよしみ桜の下で、笑顔全開で元気な写真を撮りたいと思います。

施設支援・生活介護事業
瀬野柏の実苑
（所在地）
広島市安芸区上瀬野南一丁目338-3
TEL（082）894-8958

知的な発達に障害のある成人の生活居住施設です。現在31才から83才までの男女40名が起居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃などの作業を通して社会適応をめざしています。

新しい場所で

瀬野柏の実苑　**梅木　紀子**

吹き抜ける風がなんとも心地良い新緑の美しい季節となりました。今年度より安芸柏の実苑から瀬野柏の実苑へ異動となり、新しい環境の中で試行錯誤の日々を過ごしております。
瀬野柏の実苑では年齢の幅が広く五十歳を超える方が半数以上おられます。その為、健康面や体力的な事での支援がとても重要になってきます。そこで、今年度より高齢化に伴う体力低下を意識した体操班の取り組みを実施することになりました。内容はストレッチを始め、椅子に座ったままで出来るものや、立った状態で行うバランス系の動き、指先を使った脳トレ等です。病気や怪我をしない体作りを目指し、利用者の方にはリラックスした空間の中で、ゆっくりと無理の無い範囲で行っていけたらと思います。また、普段の生活の中でもやり過ぎている支援は無いか見直し、利用者の方が今出来ている事を傍で見守り、必要な時に必要な支援をしていきたいと思っています。
誰にでも「きらり」と光る良い所があります。職員や利用者一人ひとりのその「きらり」を見つけ、伝えていきたいです。一年間よろしくお願い致します。

地域支援事業

混乱と睡眠

柏学園相談支援事業所　金丸　博一

寝ている間は、脳も休んでいるかと思いきや、体づくりやオーバーヒート（疲れやストレス）を防ぐための保守点検を行っているらしい。子どもにおいては、睡眠中に成長ホルモンの分泌が高まり、骨や筋肉が成長していくというので、「寝る子は育つ」というのは、科学的に正しいとのこと。

注目したいのは、睡眠中に脳の活性化水準が高い時間帯があることです。日中起きている時の出来事や感じたことを、寝ている時に振り返りをし、わかり易く、また気持ちの中で受け止められるようにしていく活動をしているというのです。確かに、十分な睡眠をとると、昨日のモヤモヤした気分が、いくらか和らぐことがあります。何となく嫌な気分だったことが、何が嫌だったのかがはっきりしてくることもあります。

さらにおもしろいことは、予期せぬことが起きるなどして、混乱した時ほど、脳は活性化されるということです。思い通りにならない！　不快だ！　という気持ちが、人をひと回り大きく成長させてくれるのかもしれません。苦手なことだけどやってみよう！　といったチャレンジは、結果として多くの混乱を招きます。その多くの混乱は、新たな発見や、捉え方、価値観を創っていくことにつながるというのです。わざわざ相手を混乱させる必要はないのですが、何が言いたい？　ほめているの？などと考えさせる接し方は、子どもに対しては、時に有効なのかもしれません。「あれ？」「どうして？」が、子どもの力を伸ばしていくのかもしれないのです。もちろん子どもだけでなく、予期せぬ出来事や混乱してしまう出来事に出会いつつ、十分な睡眠をとることは、人を成長させていくと考えたいものです。

地域でいきいきと

「気づき」「感じる」こころ

瀬野柏の実苑　重光　弘子

新年度が始まり職員も利用者も新しい気持ちで明るく日々を送っている姿を見ると、ふと自分が初めてこの職場に来た時のことがなつかしく思い出されます。

福祉の仕事は、人と人のつながりが大切であり支援することにゴールはないのかもしれません。みなさんの中には、障害により自己表現が苦手な人がたくさんいます。

私達の主な仕事は情緒的な支援が中心になってきます。日々の生活の中で利用者の情緒の変化に気づき、何を考え、何を思っているのか、何を求めているのか推測して対応し支援することが大切です。体調面でも本人の日々の健康状態等を把握することでいつもと違う状態の時に気づくことができます。これは日々の状態を把握することで「気づき」に結びつけられます。日々の業務に追われ気づいた点を解決せず「後で……」と思うと、ついつい忘れてしまうという経験をしたことがあります。しかし、ここで大事なことはその「気づき」が問題提起されず流された場合です。必要だと思われた「気づき」は、それを声にして生かしていくことが、利用者へのより良い支援につながるのではないでしょうか。

去る三月中旬、グループホームの利用者Aさんのお母さんが亡くなられました。最愛のお母さんを亡くし葬儀から帰る時、Aさんが最初に言った言葉は、「みんなに会いたい！」悲痛な時、思い浮かんだのは仲間達の顔でした。その後、仲間から優しく迎えられたAさんは徐々に元気を取り戻し、現在も通所部に通っています。これからも、周りの利用者や、世話人、職員の「やさしさ」に支えられ自分らしく生きていく彼女の姿を私達は温かく見守っていきたいと思います。

この仕事を通し大切に思うことは、人を想い「感じる」こころ、「やさしさ」にあると思います。「やさしさ」は、福祉の仕事に関係なく、人として一番大切なことです。また、この感性を磨くことが人にやさしくあり続けることではないでしょうか。

卒園式

柏学園　岡野　マミ

春の風が肌寒く感じられる中、三月二十五日に柏学園で卒園式が行われました。今年の卒園児さんは十名でした。スーツでビシッと決めてきりっとした表情の男の子、可愛い髪飾りにスカートを穿いた女の子がキラキラした表情で登園して来ました。中にはいつもと違う雰囲気に緊張しているお子さんもいました。

ドキドキしながら二階のホールでお父さんやお母さんと一緒に名前の書いてある椅子に座ります。担任の先生から名前を呼ばれると元気な声で「はい」と返事をして一人ずつ壇上に上がり卒園証書を受け取りました。証書を受け取りに行くお子さんの背中に緊張と成長が感じられ、涙を流されるお父さんお母さんがたくさんおられました。最後に「思い出のアルバム（かしわバージョン）」をピアノの伴奏と共に皆で歌いました。式が終わると卒園児さんと保護者の方が、担任の先生やバスの運転手さん、調理の先生方で作ったアーチを潜り各クラスに戻ります。

各クラスに戻り、改めて担任の先生から卒園証書を受け取りました。式の緊張感から解放された卒園児さんは慣れ親しんだクラスでリラックスした様子であくびをする子やダンスのように身体を動かすお子さんがおられました。最後に先生一人ひとりから話を聞き、お帰りの歌を元気いっぱいに歌いました。園庭に出ると元気いっぱいに最後の砂場や滑り台、三輪車を楽しんでいました。柏学園に来るのが最後と感じ、寂しそうな表情を見せるお子さんもおられました。

毎年、卒園式は寂しい日でもありますが、嬉しい日でもあります。一緒に笑った日や泣いた日、怒った日もこの時にはとても良い思い出に変わります。子どもたちと過ごす一日一日を大事にして、また来年もたくさんの思い出が出来るようにこれからも療育を行っていきたいと思いました。

後期レクリエーション

柏の実苑　尾崎　彩虹

三月二十二日に後期レクリエーションで安佐動物公園に行きました。前日は雨が降り、「明日は晴れてほしいね」という声が聞こえていました。当日は、皆さんの声が届いたのか晴れて活動日和となりました。行きのバスでは、待ち遠しそうにする方達が「動物に餌をあげたいな～」「ライオンに会えるかな？」と期待を胸に、車内は和やかな空気が流れていました。目的地に到着後は、4グループに分かれて行動します。特に人気のライオンゾーンでは、背を向けていたライオンに「何しているの？」「こっち向いて」と声を掛けていた方たちに応えるかのように、しっぽを振る場面がありました。昼食時間になると決まった金額の中で各自がメニューを選び、券売機で食券を購入していきます。最初はどれを買ってよいか迷い、ライスのみを選ぼうとする方もいましたが、全体を見ると食べたい物が見つかり「これこれ」と指差したのは可愛らしいライオンカレーでした。よほど気に入ったようで、目の前にすると思わず笑みがこぼれ、きれいに完食していました。皆食べ終え満腹になったところで、帰りの時間まで園内をゆっくり周る事になりました。爬虫類コーナーでは、薄暗い室内の蛇やワニ達の迫力に興味を示し生態をじっくり観察する方もいれば、職員に掴まり「怖い」と絶叫する方もいました。一汗かいた後は、ふれあいコーナーでオウム数羽が大きな声を出して鳴く姿に「喧嘩しちゃいけんよ」と優しい声を掛け心配する様子が見られていました。ゆっくり過ごした後は、職員と財布と相談しながらお土産を購入していました。そこでも思いやりの言葉が聞こえました。「動物園に行けなかった人にもクッキーを買ってあげよう」と言う方、お母さんお父さんに喜んでもらいたいので慎重に選ぶ方など、様々な思いで購入していました。最後は猿山に向かい「ありがとう」と手を振り動物園を後にしました。

今回のレクリエーションでは皆さんの素敵な笑顔が多く、楽しまれている姿を見て、次回も一人ひとりの思いを大事にしながら立案をしていきたいと思いました。

利用者さんの笑顔と元気

瀬野柏の実苑　**三原　奈苗**

私が瀬野キャンパスで働き始めて三年目になりました。最初は利用者さんとうまく接していけるのか不安でいっぱいでしたが、笑顔と元気で迎えてくれる利用者さんと関わっていく中で不安も少なくなったことを覚えています。今でも利用者さんから笑顔や元気をもらい毎日とても楽しく、笑顔で利用者さんと関わることができています。まだまだ間接的な業務に時間がかかってしまい利用者さんと関わる時間が少ないことが私の反省点です。一人ひとりの利用者さんのことをもっと知りたく、夜勤の時は消灯時間までみんなと一緒にゆっくり過ごしていくことを大切にしています。利用者さんも昼と夜で少し性格が違うように感じます。日中、トラブルを起こしてしまうことがある利用者さんでも、夜になると一つの部屋でみんな一緒に過ごし、その場の雰囲気を楽しまれているように感じます。

今、私自身の課題や目標は利用者さんにどのように接して伝えていくのかです。先輩職員の接し方や伝え方を学び、見習いたいという思いと、私なりの私にしかできない支援を見い出していきたいという思いがあります。接し方、伝え方の向上が図られることで、日々の利用者さんとの関わりの中で一人ひとりの人柄を少しでも知って理解することができ、利用者さんのちょっとした変化にも早く気付くことができると思います。そのことで利用者さんからの信頼を得らえて、お互いのことをより知っていくきっかけになると思っています。これからもっともっと仕事をしていく上で色々な壁があると思いますが、利用者さんからの笑顔や元気を糧にしてより多くの事を学ばせて頂きながら、色々な壁を乗り越えて私自身成長をしてきたいと思っています。

新任職員紹介

柏学園

西岡　真衣

この度、柏学園で栄養士として勤務することになりました。園児さん、利用者さんに笑顔で美味しく食べてもらえる食事を提供していきます。よろしくお願いいたします。

瀬野川学園

岩田千奈美

この度、広島文教女子大学を卒業し、瀬野川学園で勤務することになりました。

利用者の皆さんと関わりながら多くのことを学び、成長していきたいと思います。笑顔を忘れず頑張りますのでよろしくお願い致します。

瀬野柏の実苑

横田　一司

はじめまして、四月一日より新たに瀬野柏の実苑でお世話になることになりました。横田一司と申します。職歴として若干介護経験はありますが、新たに入社すればゼロからです。失敗等あると思いますが一日も早く覚え即戦力になるようがんばりますのでよろしくお願いします。

瀬野柏の実苑

中原　瑛美

安田女子短期大学保育科を卒業し、この度瀬野柏の実苑に務めさせて頂くことになりました。中原瑛美です。先輩方のご指導のもと、毎日明るく元気に、笑顔を忘れずに頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

行事予定（4～12月）

柏学園

4月3日　入園式
4日　1学期始業
19日～21日　家庭訪問
5月10日　春の遠足
下旬　内科検診
6月3日　参観日
中旬　歯科検診
7月7日　七夕会
22日　公開療育
8月10日　夏祭り
11日～20日　夏期家庭療育期間
21日　2学期始業
10月14日　ふれあい祭
21日　親子レクリエーション
12月6日～8日　家庭訪問
14日　もちつき
25日　クリスマス会
26日　2学期終業

柏の実苑

4月3日　作業始め
15日　法人運動会
5月20日　中部地区親善球技大会
下旬　内科検診
6月中旬　歯科検診
7月12日　前期レクリエーション
9月中旬　前期個別懇談会
10月14日　ふれあい祭
19日　中部地区合同運動会
11月上旬　法人球技大会
12月14日　もちつき
16日　年忘れクリスマス会

瀬野川学園

4月15日　法人運動会
5月20日　中部地区親善球技大会
28日　ファミリーファーム開村式
7月6日　民生委員会との交流会
15日　ファミリーファーム草取り
8月5日　慰霊祭・盆踊り大会
9月上旬　個別支援計画面談
瀬野地区民生委員との交流会
10月8日　ファミリーファーム閉村式
14日　ふれあい祭
19日　中部地区合同運動会
22日　秋祭り
11月上旬　法人球技大会
12月上旬　もちつき
下旬　クリスマス会

安芸柏の実苑

4月15日　法人運動会
5月20日　中部地区親善球技大会
28日　ファミリーファーム開村式
7月6日　民生委員会との交流会
15日　ファミリーファーム草取り
8月5日　慰霊祭・盆踊り大会

瀬野柏の実苑

9月上旬　個別支援計画面談
中旬　瀬野地区民生委員との交流会
10月8日　ファミリーファーム閉村式
14日　ふれあい祭
19日　中部地区合同運動会
22日　秋祭り
11月上旬　法人球技大会
12月上旬　もちつき
下旬　忘年会

4月15日　法人運動会
5月20日　中部地区親善球技大会
28日　ファミリーファーム開村式
7月6日　民生委員会との交流会
15日　ファミリーファーム草取り
8月5日　慰霊祭・盆踊り大会
9月上旬　個別支援計画面談
中旬　瀬野地区民生委員との交流会
10月8日　ファミリーファーム閉村式
14日　ふれあい祭
19日　中部地区合同運動会
22日　秋祭り
11月上旬　法人球技大会
12月上旬　もちつき
下旬　忘年会

安芸柏の実苑通所部

4月15日　法人運動会
5月20日　中部地区親善球技大会

ご協力いただいた関係団体

マツダ労働組合様
隨泉寺仏教婦人会様
（株）サニクリーン広島様
瀬野キャンパス家族会様
大門　清春様
吉田美恵子様

編集後記

法人柏学園にも新しいメンバーが加わり新年度がスタートしました。
今年度もより内容の充実した「柏の芽」をお届けしていきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。